TOSHIBA

東芝高天井用オートリーラー 取扱説明書

保管用

001CE74C

このたびは、東芝高天井用オートリーラーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。お求めの装置を正しく使っていいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
この取扱説明書は、同機種の器具と共通となっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

お客様へ

- この器具の取り付け工事は、必ず電気工事店に依頼してください。
- 素人工事は、法律で禁じられております。

工事店様へ

- 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

■工事店様へ 施工上のご注意

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合には、感電の原因となります。
D種(第三種)接地工事

アース工事

器具を改造したり、ワイヤーの長さの改造、その他部品を変更して使用することは絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。

改造

この器具は振動の激しい場所、風の吹く場所には取り付けできません。そのまま使用しますと、器具落下の原因となります。

振動の激しい場所
風

この器具は湿気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、屋外には取り付けできません。そのまま使用しますと、器具落下、絶縁不良、感電等の原因となります。

湿気
腐食性ガス
屋外での使用

表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しないでください。間違って使用しますと器具落下、モーター焼損、火災の原因となります。

電源電圧

吊下荷重は本体表示、取扱説明書に従い、制限荷重以内でご使用ください。荷重超過の場合、器具落下などの原因となります。

荷重超過禁止

電源線接続の際は、本取扱説明書の「器具の取り付けかた」に従って行ってください。接続が不完全な場合は発熱、火災の原因となります。特に、誤配線にはご注意ください。

電源接続

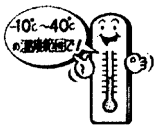
器具の取り付けは、重量の耐える所に、「器具の取り付けかた」に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災などの原因となります。

取り付け

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

周囲温度-10℃～40℃以外では使用しないでください。昇降不具合、火災の原因となります。

温度



この器具（モーター）の連続昇降動作は30分までです。再動作には10分程時間をおいてください。間違って使用されますと焼損、火災の原因となります。

昇降動作時間

■お客様へ 使用上のご注意

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

昇降動作中、人が立つことのないようにご注意してください。事故の原因となります。

ランプ交換やお手入れの際は必ずランプ電源を切ってください。感電、装置の焼損、火災などの原因となります。

ランプ交換の際は必ず照明器具の本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類・ワット(W)数のランプをご使用の場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。

照明器具を持ち上げて落とすなどの衝撃を加えないでください。また一度でも衝撃が加わった場合も使用しないでください。動作不具合となるばかりか、落下の原因となります。

ランプ交換等によりカバー、反射板、ランプなどを外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書に従ってください。

ワイヤーがねじれたまま、もつれたままの昇降や器具がゆれ、回転している時は使用しないでください。ワイヤーの強度が低下し器具が落下する原因となります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

この器具(モーター)の連続昇降動作は30分までです。
再始動には、10分程時間をおいてください。
間違って使用されると焼損、火災の原因となります。

昇降動作時間

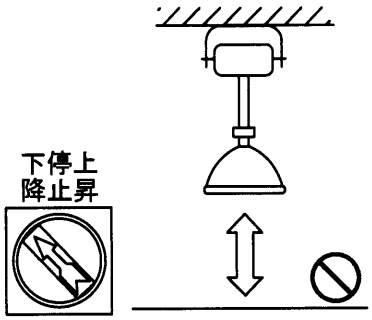
このオートリーラーの平均的な寿命の目安は、使用条件、使用環境で異なりますが、定期的なメンテナンスをすることで、昇降回数約300回または、約15年です。
特に本商品は、定期的な保守点検が必要です。
また、照明器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用環境で異なりますが、約10年です。
（定期的に工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。）

寿命

■使用方法とご注意

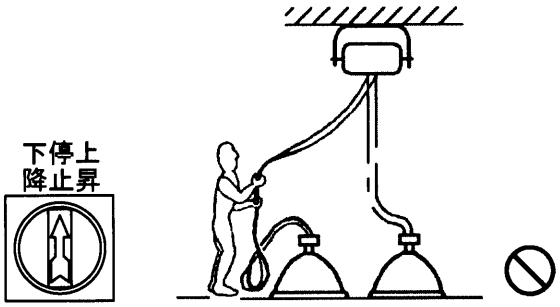
① 下降させる

- 器具の昇降に際しては、必ずランプ電源を切ってから行ってください。
- 昇降操作用のセレクトスイッチを下降に入れ照明器具を下降させます。
- この時、上昇↔下降の急激な切替や、昇降高さ1～2mでの繰り返し昇降等は故障の原因となのますので、行わないでください。
- 昇降装置の定格は30分です。
  30分以上の連続昇降動作は、行わないでください。



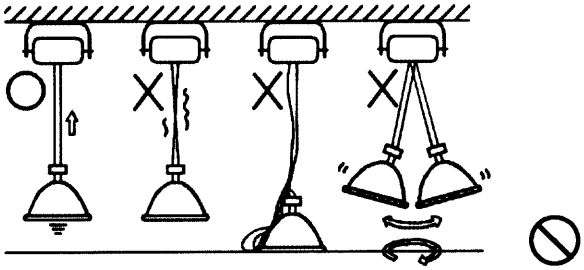
② 停止させる

- セレクトスイッチを停止にすると停止します。
- この昇降装置には、任意位置停止機能があります。下降時任意の位置で器具を支えるとそこで停止します。
- この昇降装置には高さ設定機能がありますので、設定した高さで自動停止します。
- 床面に到達すると自動的に停止します。
- 床面に到達した位置より横へずらさないでください。
- ワイヤーを引っ張らないでください。



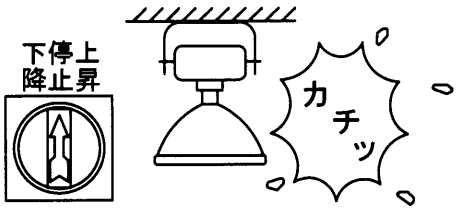
③ 上昇させる

- メンテナンスが終わりましたら、**ワイヤー「ねじれ」「もつれ」**がないかを確認し、セレクトスイッチを上昇にしてください。
- ワイヤーがたるんだ状態（負荷のかからない）での上昇はしないでください。
- 上昇中は照明器具を揺らせたり、回転させることなく巻き上げてください。
- 風の強い日の昇降や、昇降途中、照明器具が**「揺れ」**たり**「回転」**したりしたときは、直ちに停止させ、揺れや回転が治まってから再び、昇降させてください。



④ ロック停止

- 照明器具が天井面に到達し「カチッ」と音がしたらロックが完了します。
- 「カチッ」と音がして、ロック停止を確認したら、必ずセレクトスイッチを停止にしてください。



■電動昇降装置点検リスト

オートリーラーの性能を維持するため、少なくとも6ヶ月に1度は昇降動作を行い、下記項目を点検してください。

1	下降テスト	操作スイッチを下降にして、照明器具を下降させる。	異常なく下降すること。
2	自動停止テスト	照明器具が床面に到達した時、昇降装置が停止することを確認する。（モーター音がなくなることで確認する。）	モーターが停止すること。
3	接点状態確認	昇降部の電気接点部の緩み、酸化の有無を目視によりチェックする。又、樹脂部品等の変形などがないかも確認する。	接点部の緩みなく接触面全体にわたる酸化がないこと。樹脂部品等の変形がないこと。
4	ワイヤー状態	ワイヤーにキンク（くせ）がないか、目視によりチェックする。	曲りぐせ、素線のほころび、素線切れなどのないこと。
5	上昇テスト	操作スイッチを上昇にして、正常にロックさせることを確認する。	異常なく上昇、ロックすること。
6	その他	昇降時に、モーターの回転音に異常はないか。ロック停止後、（操作スイッチをOFFにし）ランプは点灯するか。	異常音がないこと。 正常に点灯すること。

■修理サービス

ご使用中または、定期点検において異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝ライテック（株）営業所にご相談ください。
なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社　電材事業部　〒140-8660　東京都品川区南品川2-2-13(南品川JNビル)　TEL(03)5463-8768　FAX(03)5463-8824

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

001CE74C

この紙は再生紙を使用しています

TOSHIBA

HUD-22027シリーズとHUD-22017シリーズを同一回路内で使用する際の注意点

HUD-22027シリーズ

HUD-22027-200	HUD-24027-200
HUD-22028-200	HUD-24028-200
HUD-22025-200	HUD-24025-200
HUD-24025EB-200	HUD-24028EB-200
HUD-22026K-200	HUD-24026K-200
HUD-26027-200	HUD-22028HC-200

HUD-22017シリーズ

HUD-22017-200	HUD-24017-200
HUD-22018-200	HUD-24018-200
HUD-22015-200	HUD-24015-200
HUD-24015EB-200	HUD-24018EB-200
HUD-22016K-200	HUD-24016K-200

●昇降動作時は、動作音がします。動作音は器具取付け条件などにより差がでる場合があります。予めご了承願います。

●昇降速度には、器具個々にバラツキがあります。予めご了承願います。
異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店、電気工事店にご相談ください。火災・感電の原因となります。

●HUD-22027シリーズとHUD-22017シリーズとを同一回路内で使用することは可能です。

●HUD-22027シリーズとHUD-22017シリーズとを同一回路内で使用している場合は、一度の設定操作でHUD-22027シリーズとHUD-22017シリーズを設定することができます。

●自動位置設定時のHUD-22027シリーズとHUD-22017シリーズは、設定時の動作及び停止位置は異なりますが、設定自体は問題なく設定することができます。

●自動位置設定時の設定動作は、床面で停止状態を1分間保持した後の上昇操作時(位置設定用取扱説明書. P2　1. 自動位置設定機能　設定方法 ⑪)、HUD-22027シリーズは床面から1.2mの位置で停止しますが、HUD-22027シリーズは装置に嵌合するまで停止しません。

●HUD-22027シリーズとHUD-22017シリーズの相違点は以下の通りです。

○自動位置設定時の設定動作
- ・HUD－22027シリーズ: 設定動作中に一度床面から1.2mの位置で停止します。
- ・HUD－22017シリーズ: 設定動作中は途中で停止せず、嵌合位置か床面で停止します。

○自動設定の設定高さ
- ・HUD－22027シリーズ: 床面から1.2m
- ・HUD－22017シリーズ: 床面から1.5m

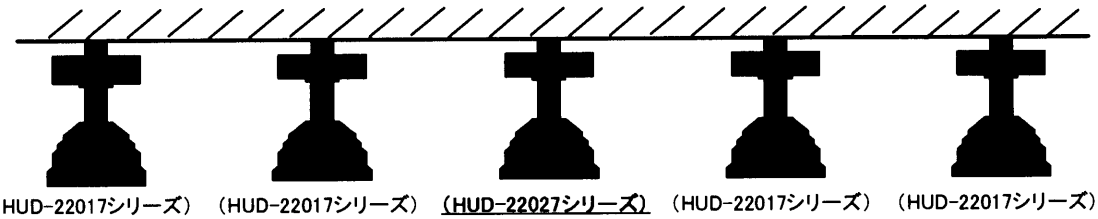
●HUD-22027シリーズとHUD-22017シリーズとを同一回路内で使用し、且つ自動位置設定を行う場合は、微調整機能は使用できません。

●自動位置設定中は、自動位置設定を行うための動作(嵌合位置での上昇→停止×4回: 位置設定用取扱説明書. P2　1. 自動位置設定機能　設定方法 ⑤)以降に嵌合位置での上昇→停止動作を2回以上行わないでください。設定モードが解除され、正常に設定できません。

●HUD-22017シリーズの設定位置は、モータ個々のバラつきにより±30cmの誤差が発生する場合があります。

なお、HUD-22027シリーズとHUD-22017シリーズの任意位置設定方法は、同一操作方法です。
設定位置及び設定操作の相違がないため、任意位置設定をお奨めします。
詳しくは、「保管用取扱説明書(P3) 2. 任意位置設定機能　設定方法」を参照してください。

HUD-22017シリーズとHUD-22027シリーズを同一回路内で使用し、自動位置設定を行う場合は、以下を参考にしてください。(例：HUD-22017シリーズ4台、HUD-22027シリーズ1台の計5台を送り配線接続した場合)



①位置設定用取説「１．自動位置設定機能　設定方法の⑤設定開始」まで行ってください。

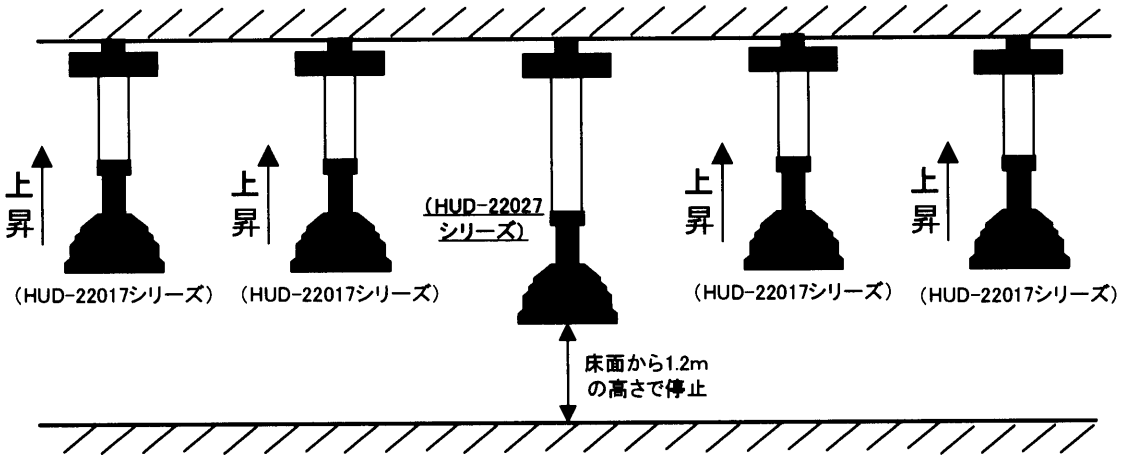
②操作スイッチを”下降”にしてください。器具が下降します。

③全ての器具が床面で停止後、操作スイッチを”下降”にしたまま1分以上間待ってください。

④1分経過後、操作スイッチを”停止”にしてください。

⑤続いて操作スイッチを”上昇”にしてください。

⑥上昇操作後、HUD-22027シリーズは床面から1.2mの位置で停止し、HUD-22017シリーズはそのまま上昇を続けます。（下図参照）



⑦HUD-22027シリーズが床面から1.2mの位置で停止後、スイッチを”上昇”に保持したまま1分間以上待ってください。（1分以上経過してもHUD-22017シリーズが嵌合位置まで上昇していない場合は、嵌合するまで待ってください。）

⑧1分経過後、操作スイッチを”停止”にしてください。

⑨続いて操作スイッチを”上昇”にしてください。
HUD-22027シリーズは上昇を始め、HUD-22017シリーズは嵌合位置で一度上昇し、再度嵌合位置で停止します。

⑩HUD－22027シリーズが嵌合位置で停止したら、操作スイッチを”停止”にします。

⑪操作スイッチを”下降”に切り替えてください。それぞれの設定位置で器具が停止します。
・HUD-22027シリーズ･･･床面から1.2mで停止
・HUD-22017シリーズ･･･床面から1.5mで停止

以上で設定作業終了です。